

世界的指揮者、準・メルクルを迎えて贈る

オペラ『平和の日』 日本初演

2022年12月17日(土)よりチケット発売開始

2023年4月8日(土)、9日(日) Bunkamuraオーチャードホール

公益財団法人東京二期会は、二期会創立70周年記念公演としてリヒャルト・シュトラウス作曲のオペラ『平和の日』を2023年4月8日(土)と9日(日)の2日間、Bunkamuraオーチャードホールにて日本で初めて上演いたします。これに向けて、チケットの一般発売を2022年12月17日(土)より開始いたします。

世界的にも上演されることの希少な演目だけに、今回を逃せば二度と聴けないかもしれない「幻の傑作」をお届けいたします。

東京二期会がBunkamuraとともに贈る、『平和の日』 日本初演！



※画像は、前回〈東京二期会コンチェルタンテ・シリーズ〉公演プッチーニ『エドガール』より

Bunkamuraとの共同主催により、映像と照明を駆使したセミ・ステージ形式で、楽曲そのものの魅力が堪能できるとご好評をいただいている〈東京二期会コンチェルタンテ・シリーズ〉。『ノルマ』『エロディアード』『サムソンとデリラ』『エドガール』に続くシリーズ5作目として、今回はリヒャルト・シュトラウスの『平和の日』を日本初演いたします。

東京二期会は、1952年の創立から今年70周年を迎えました。その長い歴史の中で、ドイツの大作曲家リヒャルト・シュトラウスの『サロメ』『ばらの騎士』『ナクソス島のアリアドネ』などを重ねて上演するほか、『エジプトのヘレナ』『ダフネ』『ダナエの愛』を日本初演してきました。そして今回、世界的にみても上演されることが貴重な『平和の日』を紹介いたします。全1幕、上演時間約75分でありながら、豪華なオーケストレーションで、シュトラウス後期の豊饒な音楽が凝縮された作品です。フル編成の生のオペラの音楽を、S席10,000円でお楽しみいただける〈東京二期会コンチェルタンテ・シリーズ〉は、オペラ・ファン、オーケストラ・ファンはもちろん、オペラ初心者の方にもお試しいただきやすいシリーズとなっています。

第二次世界大戦開戦前夜に世界初演された平和への讃歌を、世界的名匠 準・メルクルが指揮！

指揮は、ドイツオペラのスペシャリストとして世界的な賞賛を受けている準・メルクルです。ロイヤル・オペラ・ハウス、ウィーン国立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ゼンパーオーバー・ドレスデン、サンフランシスコ歌劇場等、その活躍は枚挙に暇のない世界的名匠ですが、ミュンヘンで生まれドイツ人の父と日本人の母を持つマエストロは日本への愛も深く、国内でも数多の演奏会でファンを魅了しています。東京二期会は『イドメネオ』『ダナエの愛』『ローエン格林』に続いての招聘を果たします。



(c)Jean-Baptiste Millot

『平和の日』は、17世紀の欧州で起こったドイツ三十年戦争終結のまさにその日を舞台にした物語です。1936年に作曲され、38年にミュンヘンで世界初演されました。平和への祈りと希望が込められた本作品のフィナーレでは、長い戦争が終わり、平和が訪れた日の民衆の喜びが力強く表現され、観る者の心を揺さぶります。

しかし、初演翌年には第二次世界大戦が勃発し、人類は未曾有の大惨禍を経験することとなります。その後、このオペラもほとんど上演の機会に恵まれず今日に至りました。

シュトラウスの音楽をこよなく愛し、日本を愛するマエストロが指揮する『平和の日』日本初演。今、あらためて「平和への讃歌」を奏でます。

日本のオペラ界のトップランナーたちが平和への祈りを歌い上げる

今回、日本初演となる『平和の日』はダブルキャストにより2日間にて上演いたします。主役となる、包囲された街の司令官を務めるのは、清水勇磨と小森輝彦。清水勇磨は、『ばらの騎士』ファニーナル、『タンホイザー』ヴォルフラム、『パルジファル』アムフォルタスなどドイツオペラでも大役を果たしてきた充実のバリトン。日本人初のドイツ宮廷歌手・小森輝彦はドイツオペラの王道といえるキャリアを誇り、東京二期会でも『ダナエの愛』ユピテル、『ローエン格林』テルラムント、『フィデリオ』ドン・フェルナンドなどを好演してきました。その妻・マリアには若きソプラノの逸材が揃って登場。中村真紀は2018年に『ローエン格林』オルトルートで二期会デビューを飾り、『タンホイザー』エリーザベトのカヴァーキャストを務めた後、今回の主役の座を獲得。渡邊仁美は『アルチーナ』題名役で二期会デビュー後、『サロメ』題名役のカヴァーを経て、2022年2月『影のない女』皇后役に抜擢されるも、コロナ禍において公演が中止。今回満を持しての主演となります。

包囲された街の司令官



清水勇磨



小森輝彦

マリア（その妻）



中村真紀



渡邊仁美

〈オペラ『平和の日』あらすじ〉

17世紀。すでに宗教戦争は三十年にも及んでいた。ここは敵に包囲され、食糧も弾薬も尽きた町。疲弊する兵士や市民たちは降伏を求めるも、皇帝の命令に背けない司令官は必死の戦闘を続けると人々を鼓舞する。司令官の妻マリアは、自決も辞さない夫の姿に嘆き悲しむも運命を共にすることを誓い抱き合う。そこに大砲の音が鳴り響く。ついに敵軍の総攻撃、と思いきや、今度は教会の鐘が一斉に共鳴する。「平和の鐘」と気づくマリアと、「敵の罠だ」と警戒する司令官。そして、市長があらわれ、和平条約が結ばれたことを告げる。ついに、要塞は開かれ、敵兵も市民も区別なく肩を取り合い、戦争からの解放を喜びあう。

《二期会創立70周年記念公演》
東京二期会コンチェルト・シリーズ
リヒャルト・シュトラウス

『平和の日』

日本初演／セミ・ステージ形式上演

オペラ全1幕 日本語字幕付き原語(ドイツ語)上演
Bunkamuraオーチャードホール
2023年4月8日(土)17:00、9日(日)14:00
※開場は開演の60分前



指揮：準・メルクル

舞台構成：太田麻衣子
合唱指揮：大島義彰
舞台監督：幸泉浩司

映像：栗山聡之

照明：八木麻紀

公演監督：佐々木典子

公演監督補：大野徹也

キャスト

配役：
包囲された街の司令官
マリア
衛兵
狙撃兵
砲兵
マスケット銃兵
ラッパ手
士官
前線の士官
ピエモンテ人
ホルシュタイン人（包囲軍司令官）
市長
司教
女性の市民

4月8日(土)
清水勇磨
中村真紀
北川辰彦
高野二郎
高田智士
松井永太郎
倉本晋児
石崎秀和
的場正剛
前川健生
河野鉄平
伊藤達人
堺 裕馬
石野真帆

4月9日(日)
小森輝彦
渡邊仁美
大塚博章
岸浪愛学
野村光洋
高崎翔平
清水宏樹
杉浦隆大
岩田健志
山本耕平
狩野賢一
持齋寛匡
寺西一真
中野亜維里

合唱：二期会合唱団
管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

チケット料金（全席指定・税込）

S10,000円 A9,000円 B6,000円 C4,000円 学生2,000円

※チケットお申込みと同時に「二期会オペラ愛好会」へもご入会いただけます（チケット先行予約、割引サービスあり）

発売日：二期会オペラ愛好会先行 2022年12月10日(土)～
一般発売 2022年12月17日(土)～

チケットのご予約・お問合せ：二期会チケットセンター

TEL.03-3796-1831（月～金=10:00-18:00/土=10:00-15:00/日・祝=休）

インターネットご予約は、「二期会チケット」で「検索」 <http://www.nikikai.net/ticket>

その他プレイガイド

チケットスペース 03-3234-9999 チケットぴあ <https://t.pia.jp/>（Pコード：231-098）

ローソンチケット <https://l-tike.com>（Lコード：34519） イープラス <https://eplus.jp/>

Bunkamuraチケットセンター 03-3477-9999（10:00～17:00）

オンラインチケット My Bunkamura <https://www.bunkamura.co.jp/mybunkamura/>

主催：公益財団法人東京二期会、Bunkamura